

デジタル回路

① デジタル回路について

最近のデジタル回路は、FPGA や PLD のようなソフトウェアで回路を組むものや、マイコンのようにソフトウェアで記述するものが多いので、回路図だけを見ても何をやる基板かわかりにくいものが多く、周辺 I/O の回路を見て、概ねどのような機能に使われる基板かを把握できる程度になっています。そこでお客様の要求にお応えして、回路の動作や周波数などを確認し、パターン設計を行っています。

② 得意分野

- ・ FPGA、DDR が搭載された基板や周波数で 100MHz～数 GHz の信号を扱う基板です。特性インピーダンス制御の配線も通常の基板と同様にパターン設計ができます。
- ・ COB が搭載された基板は、ワイヤーボンディングをするため、特殊なパターン設計ですが、多数の実績があります。

③ 基板層数の実績

一般基板:片面～16 層

高周波基板は、4 層～16 層

(貫通スルーホール、パッドオンビア、IVH、ビルドアップ)

